

上昇気流

明日から中学校生活最後の学年末テストが始まります。

最後までしっかりと試験に臨んでほしいと思っています。

2月20日の学年集会から

「私立や公立推薦の合格発表があり、進路が決定しても、3年生の全員の進路が決定するまでは、これまで通りきちんと取り組む」という雰囲気全体の中にはあると思っているのですが、中に気の緩んだ様子を見せる生徒がいて心配しています。それで急遽学年集会を開きました。

「志望校の合格通知をもらった後の心構え」を、学年通信に書いておきましたが、理解できているでしょうか？ 人として「自分さえよければそれでいい」という態度は、学校内では許されません。進路が決定した人ほど、次のことを必ず守るようにしてください。

- ・安易に欠席や遅刻をしない。
- ・授業やテストをいい加減に受けない。
- ・卒業までのクラス内の仕事を積極的に引き受ける。

また、気の緩んでいる生徒のそばで、自分のこと以外に次のようなことに取り組んでいる人がいることを知ってほしい。

- ・文集委員が原稿を集めたり、「クラスのページ作り」に励んでいる。
- ・卒業式の言葉や卒業式の歌の伴奏の準備や練習に励んでいる。

卒業式に向けての意気込みを 書いてもらいました

私が担当する最後の道徳の授業「巣立ちの歌が聞こえる」の中で「卒業式に向かう意気込み」を書いてもらいました。今回は1組の皆さんの意気込みを紹介します。

3月の行事予定

2月28日(水)
学年末テスト1日目(理科・英語・技家)

2月29日(木)
学年末テスト2日目(国語・数学・音楽)

3月1日(金)
学年末テスト3日目(社会・美術)

3月5日(火)
午後3年生を送る会

3月11日(月)
3年給食最終日

3月12日(火)
公立高校一般入試
学校に残る生徒は午前中授業

3月13日(水)
卒業式練習・愛校作業

3月14日(木)
卒業式準備

3月15日(金)
第77回卒業証書授与式

コロナ以後の手本となる柏原中学校史上最高の卒業式を作り上げよう！

3月19日(火)
公立高校合格発表

卒業式における意気込み

- ・今までで一番素晴らしい卒業式を作るために、保護者に日々感謝して、歌もしっかりと歌いたい。(山本久志)
- ・長いようで短かった義務教育も、もう終わりが近づいてきました。最後のいいしめくりになるように、今後の生活も気を引き締めていきたいです。(田上紗妃)



・心が気持ち良くなるような卒業式にしたいと思っています。イヤな気持ちにならないようにしたいです。(足立彩花)

・9年間のいいしめくりをする。(若森みずほ)
・柏原中学校の生徒として、堂々としながら歌うのと、名前を呼ばれたら大きな声で返事したいです。(橋本明)

・練習の時から積極的に本気で取り組み先生・保護者に感謝を伝える卒業式にしたい。また、誰にも真似できない自分たちの卒業式を作り上げたい。(西田三矢朗)

・一人ひとりが同じ気持ちで挑み、優雅に卒業する。(蘆田悠斗)

・三年間を振り返って、これからも頑張っていくといった気持ちでやる。しっかり最後まで歌い、感謝の気持ちを伝える。(西垣志音)

・「これまでありがとう」という気持ちで感動させられるようにきちんとしています。(梅垣わかな)

・感動して泣いてもらえるような卒業式にする。(小松天音)

・ちゃんとした卒業式は初めてだけど、みんなに良い印象を与えられる卒業式にする。(柴原空鈴)

・しっかり返事してしっかり歌を歌います(細見優妃)

・卒業生の想いを背負って、三年間の感謝と後輩へのバトンタッチの想いを伝える。(蘆田翔太)

※翔太くんが「卒業生の言葉(答辞)」を担当します。

・ありがとう。(NATIVIDAD AARON REYES)
・特別な感じでなく、いつも通りの良い穏やかな雰囲気のまま卒業したい。友達・家族・地域の人など関わってもらった人全員に感謝したい(田中蒼史)

・合唱のある卒業式は見せてもらったことがないけれど、良い合唱ができるように伴奏者として頑張ります。みんなの思い出に残るような卒業式にしたいです。(横谷瑠奈)

・最後まで全力で頑張って感動できるようにしたい。(廣岡颯太)

・自分たちが見たことのないものを作るといことは、とても難しいけれど、それを仕上げた時の達成感というのは、とても素晴らしいものだ。僕は思っていて、最後の卒業式も、下級生や保護者・先生・友達に最高の卒業式を届けられるようにしたい。(三井琉生)

・中学校3年間をしめくるような卒業式にしたい。(大槻優翔)

・全員でまとまった卒業式にする。声をしっかり出す。(足立悠斗)

・今年から合唱があるので親に感謝の気持ちを伝えながら歌いたい。返事も大きな声で言えるように頑張りたい。(谷口舜)

・中学校で最後の歌だから、声をしっかり出す。呼ばれた時の返事をしっかりする。(齋藤篤樹)

・当たり前を当たり前にする決意を見せる。(大木雄琉)

・今まで育ててくれた親に感謝の気持ちを伝えられるようにしたい。大きな声で返事をする。(足立唯乃)

・良い返事をする。(長澤智輝)

・自分たちが出せる全力で挑み、死ぬ気で参加する。どうせやるなら楽しんで！(月尾惺良)

・3年間のしめくりとして、自分たちが見本になれるような卒業式にしたいです。(来島智哉)

・3年間、勉強部活を頑張ってきて、今まで家族や友達にも助けてもらった分、返事は大きく、歌声に感謝の持ちを込めていきたい。(濱野茉央)

・最初から最後まで全力でやる。思い出に残る卒業式にする。(永井愛花莉)

・みんなが一生懸命にたくさんのことに取り組むことだと思います。僕も今までに緊張した経験を活かして「ハイ」と返事をする時も一生懸命やりたいと思います。(柳田侑生)

(文責:足立 進)